（様式）

|  |  |
| --- | --- |
| 議　　　題 | 大阪の副首都化について |
| 日　　　時 | 平成２９年１月１８日（水）　１６時１５分～１９時１０分 |
| 場　　　所 | 堺屋太一事務所 |
| 出　席　者 | （特別顧問・特別参与）：  堺屋特別顧問  （職員等）  副首都推進局副首都企画推進担当部長、企画担当課長、  事業再編担当課長代理 |
| 論　　　点 | 第８回副首都推進本部会議について |
| 主な意見 | ○副首都で具体的にやることを絞って考える必要。行政の取組み以外に、民間でできることは何か。一番は「情報発信」。他に「シンクタンク」「カリスマ性のあるもの・特殊文化」の３点。  ○ＩＲには放送局が必要。ショーやイベントを放送し、ＩＲの宣伝にもなる。ＩＲを使って情報発信機能を作ることを考えてほしい。  ○大阪が話題になることをどんどん作っていく。そのときに目線が下がらないように。その中でシンクタンクの人材に活躍してもらって、人材を引っぱり上げていくことが必要。  ○女性やこどもを大阪に惹きつけるにはどうすればよいか。「教育」ということもあるが、「カリスマ性のあるもの、女性や若者の欲する街、特殊文化」が大事。  ○全国団体（業界団体、協会、学会、スポーツの連盟）のように、全国の情報が集まるところを大阪にもってくることを考えると良い。  ○情報発信機能の強化は、全国の情報を大阪に集めて、大阪から発信することが大事。 |
| 結　　　論 | ○顧問のご意見を踏まえ、引き続き、検討を進める。 |
| 資　　　料 | ○副⾸都化に向けた中⻑期的な取組み⽅向（未定稿） |
| 関係所属  （室　課） |  |

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報